

令和6年度一般選抜後期日程入試

総合問題A

採点のポイント

【出題の意図】

アドミッションポリシーに基づき、受験生の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。

本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として、現代的課題である「統計」や「計算」、「客観性」について書かれた複数の文章をもとに、的確な読解力・理解力・論理的思考力・文章構成力などを見ることを意図して問いを設定した。

問1

〈解答例〉 省略

〈採点のポイント〉

- ・感染症の感染者数や対策、企業による消費行動の予測、警察による犯罪の防止、天気予報など、本文中に記される具体例を挙げて説明している
- ・計算による未来予測が生活の隅々にまで行き渡っていることを指摘している
- ・誤字・脱字がなく、ねじれの無い文で記述している

問2

〈解答例〉 省略

〈採点のポイント〉

- ・治療を選ぶプロセスに際限がないこと、また、その中で効果が出る確率が高い治療法が選ばれることが多いことを理解している
- ・患者がエビデンスに基づく数値をめぐる不安に支配されることを理解している
- ・誤字・脱字がなく、ねじれの無い文で記述している

問3

〈解答例〉 省略

〈採点のポイント〉

- ・「事実」と「統計」の関係を理解している
- ・もともと「統計」は傾向を表す指標であったが、「事実」と混同されるよ

- うになったことを理解している
- ・誤字・脱字がなく、ねじれの無い文で記述している

問4

〈解答例〉 省略

〈採点のポイント〉

- ・次の4つの段階があると記述されていることを理解している
 - ①観察された事実を客観的な数値に置き換える
 - ②データを統計的な手法に基づいて分析する
 - ③誰もが納得する結論が得られる
 - ④誰もがその結果を追試験することができる
- ・①～④を順を追って説明している
- ・誤字・脱字がなく、ねじれの無い文で記述している

問5

〈解答例〉 省略

〈採点のポイント〉

- ・自らの立場を明示している
- ・課題文①・②・③・④に記されている内容を要約したり、引用したりしながら、自らの考えをまとめている
- ・論理的矛盾や破綻がなく、説得力のある文章で述べている
- ・誤字・脱字がなく、ねじれの無い文で記述している